



第6回UNHCR難民映画祭

この度、国連難民高等弁務官(UHCR)駐日事務所は第6回 UNHCR 難民映画祭を開催いたします。

今年は1951年に国連が難民条約を採択して60周年、その難民条約に日本が加入して30周年、そして初代難民高等弁務官に任命されたフリチョフ・ナンセンの生誕150周年にあたる記念の年です。また日本が大地震と津波に見舞われた年であり、今年の映画祭には特別な意味が含まれます。東日本大震災の悲劇は、誰でも突然に住む家を失う可能性があるのだということを改めて考えさせられました。それと同時に、この悲劇に立ち向かおうと集まった人の復興に向けた力強さに私たちは深く心を打たれました。この映画祭で上映される作品では戦争や紛争、人権侵害や自然災害によって故郷を追われた人が描かれていると同時に、その苦しみを少しでも鎮めることができれば、という願いから彼らに寄り添う人の姿も数多く描かれています。

皆様にはこの映画祭を通じて、世界に暮らす4,300万人の難民・国内避難民などについて知っていただくと同時に、ふるさとを追われた人がより明るい未来を築くための希望を持てるよう、手を差し伸べる気持ちを抱いてもらえたらと願っております。

開催概要

- 【会期】 2011年10月1日(土)－10月9日(日)
- 【会場】 イタリア文化会館、セルバンテス文化センター東京、青山学院大学(総合研究所ビル12階大会議室)、青山学院アスタジオ、ノルウェー王国大使館、グローバルフェスタ JAPAN 2011
- 【主催】 国連難民高等弁務官(UHCR)駐日事務所
- 【パートナー】 特定非営利活動法人 国連 UNHCR 協会
- 【特別協賛】 イオン、イオン1%クラブ、キヤノン株式会社
- 【協賛】 ジョンソン・エンド・ジョンソン ジャパン・グループ、外国法共同事業法律事務所リンクレーターズ、ソニー株式会社、トヨタ自動車株式会社
- 【協力】 青山学院大学、カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社、セルバンテス文化センター東京、イタリア文化会館、日本映像翻訳アカデミー®、ノルウェー王国大使館、株式会社須田製版、株式会社ユニクロ
- 【後援】 外務省

※映画祭期間中には様々なゲストをお招きしてイベントを開催する予定です。イベント情報は随時公式サイトにて発表いたします。

<http://unhcr.refugeefilm.org>

※入場料は頂いておりませんが、各会場にてご寄付を募っております。

国連難民高等弁務官(UHCR)駐日事務所 広報室

107-0062 東京都港区南青山 6-10-11 Tel 03-3499-2310 Fax 03-3499-2272

www.unhcr.or.jp unhcr.refugeefilm.org

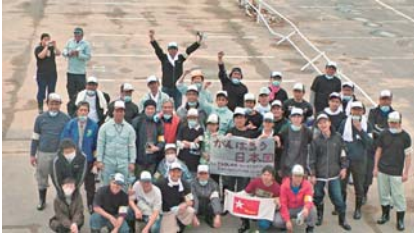
UNHCRの支援活動は皆様のご寄附に支えられています。ご寄附はUNHCRの公式支援窓口である。

国連UNHCR協会を通じてお願いします。国連UNHCR協会 Tel 03-3499-2450 Fax 03-3499-2273

www.japanforunhcr.org



プログラム(ハイライト作品)



『すぐそばにいたTOMODACHI』 《日本初上映(オープニング作品)》

監督:セシリア亜美 北島

日本/2011/100分/ドキュメンタリー

※山形国際ドキュメンタリー映画祭 2011 関連企画「ともにある Cinema With Us」上映予定

今年3月の東日本大震災をうけて95人のビルマ(ミャンマー)難民がボランティアグループを立ち上げた。日本における自分たちの立場が厳しいものであるにもかかわらず、彼らは一体なぜ被災地へと向かったのか。カメラは祖国に母親を残して日本にやってきたひとりの若い女性を追う。



『イリーガル』(原題:Illegal) 《日本初上映》

監督:オリビエ・マッセドゥパス

ベルギー、フランス、ルクセンブルグ/2010/95分/ドラマ

※カンヌ国際映画祭 2010 監督週間正式出品

8年前ベルギーにやってきたタニアと息子のイヴァンは社会へ溶け込んでいたものの不法滞在を続けていた。ある日タニアは入国管理局に拘束されるが、イヴァンはその場から逃走する。施設に收容され、息子から隔離された彼女の権利は容赦なく剥奪されてゆく。



『エネミーズ・オブ・ザ・ピープル(人民の敵)』(原題:Enemies of the People)

《日本初上映》

監督:テット・サンバット、ロブ・レムキン

カンボジア、イギリス/2010/93分/ドキュメンタリー

※2010年サンダンス映画祭 世界のドキュメンタリー特別審査員賞

70年代後半のカンボジアでおよそ2百万人もの犠牲者を出したクメール・ルージュによる虐殺。自らの親兄弟を殺された現地の記者サンバットは当時の歩兵や、ポル・ポトの右腕だった人物を取材し、驚くべき真実をつかむ。

関連企画 「ヒューマン・シネマ・フェスティバルsupported by AEON」 開催

世界には、ある日突然、紛争や迫害、自然災害によりふるさとを追われ、これまでの平穏な暮らしを奪われた人たちがいます。彼らは厳しい避難生活を強いられながらも、希望を捨てずに必死に今日を生き抜いています。「その姿をより多くの人に知ってもらいたい」と願い、イオングループのご支援により、「ヒューマン・シネマ・フェスティバルsupported by AEON」を本年10月に、全国20ヶ所のワーナー・マイカル・シネマズとイオンシネマで開催します。

(主催:国連 UNHCR 協会 協賛:イオン、イオン1%クラブ 協力:株式会社ワーナー・マイカル、イオンシネマズ株式会社)

国連難民高等弁務官(UNHCR)駐日事務所 広報室

107-0062 東京都港区南青山 6-10-11 Tel 03-3499-2310 Fax 03-3499-2272

www.unhcr.or.jp unhcr.refugeefilm.org

UNHCRの支援活動は皆様のご寄附に支えられています。ご寄附はUNHCRの公式支援窓口である。

国連UNHCR協会を通じてお願いします。国連UNHCR協会 Tel 03-3499-2450 Fax 03-3499-2273

www.japanforunhcr.org



UNHCR
The UN Refugee Agency